

250円

(本誌239円)

年々め購読料  
19,800円  
(税・送料込み)

2003年(平成15年)11月0日号

NO. 2112 (隔週水曜日発行)

株式会社 週刊住宅新聞社

本社 宇169-0075 東京都港区芝浦區南橋場1-25-10 三層ビル  
電話 03(3325)7421 FAX 03(3325)7790 郵便振替口座 東京25-33424  
発行人 森島 浩章 昭和35年5月10日 第1486号(創刊号)

# 週刊住宅

## 留学を機に一念発起

生まれも育ちも浅草。「小学生の頃から勉強狂いだった」という海老沼社長だが、ハワイ留学後から留学にいそしんだ。平成6年に父が病気で亡くなり、不動産業の看板も一旦降り、鑑定士事務所に勤めながら不動産鑑定士の資格を取得。昨年の月に独立した。淡草が好んで、「明るく気さくな人間」という海老沼氏の言葉を聞いてみる。(菊池宏記者)

「私もバブル時代の不動産業界で経験した一人。先日購入した土地や物件が今日は値に上がった、という話が一掃ありました。適正な価格があったら適正な取引先があるのでは」と懸念を感じていました。そうした思いから、海老沼氏は不動産鑑定士を目指すと決意。平成6年

## 社長の素顔

■16■

海老沼氏は昭和39年浅草

「下町は気さくな人が多くいます。自分も気がいり助

る人間です」とHdでつづいて自己紹介しているが、まさにその通りの人物。そして浅草大好き人間でも業で先生。

小学時代は勉強狂いのでいふれん坊だった。浅草にうかがは大きな校庭のある学校がほとんどなく、駐車場「で練習をしたり、路上でサッカーをして遊んだ。駐がん車道が道路といっても狭い

いまも浅草大父の教訓「利よ

いスペース。当然が良それすきて、お母の専らラスした。を助たり、駐車してはる車を海にこした。の時は「それでも逃げません合たてでした。浅草という土地PDI、遊びでもたんのわてして来ますから。でも、何度が数十万円単位で感方ラスや車の修理代の請求を受けたいとがあまりです」

母が教

### 会社概要

【不動産鑑定士海老沼事務所】  
本社/台東区四塚草2-25-1  
○設立/昭和37年9月19日  
●基金/1000万円/従業員数/○  
●主なる事業/不動産の証券現  
名にかかわる鑑定、明証上サ  
出賃の鑑定、不動産コンサル  
ィング、不動産仲介業など

●仕事、サーフィン、食ベ  
●「サーフオンは18歳の時  
、留学中もサーフオン

